

# 「SoTLプロジェクト2021」募集要領

高等教育開発センター

## 1. 趣旨

高等教育開発センターでは、八王子キャンパスにおける授業改善と教育の質向上を促進するため「SoTLプロジェクト2021」を実施いたします。

SoTL (Scholarship of Teaching and Learning) とは、「自己の教育実践や学生の学習に対する学術的アプローチにもとづいた探求を通して、高等教育における教授と学習のプロセスをより高度化し、その成果を広く共有する取組み」のことです。本プロジェクトは、本学の教育理念である「実学・国際性・開放性」の実現を目指し、学生の視点に立った教育活動の展開に貢献しようとする教員個人(少数人数グループを含む)の教授・学習に関わる研究活動を支援するものです。

## 2. 募集について

### (1) 募集対象と助成金額

2021年度に実施される全ての授業科目を対象とします。

1 課題 (科目) につき個人での応募の場合：上限 10 万円

グループの場合：代表者上限 10 万円 + 分担者 (上限 10 万円 × 人数)

但し、上限 50 万円

\* 助成金額の対象は本学専任教員のみとなります。非常勤教員の場合、本プロジェクトには参加いたできませんが (代表者、分担者共可)、助成金はありません。

\* 予算使用にかかる規則は、学内規定に従います。なお、上記金額は「上限」であり、事前に申請書に明記された必要経費に対してのみ実費払いとなります。本プログラムの経理処理の最終日は2022年3月31日(木)です。次年度への繰越しは原則としてできません。

### (2) 課題

課題は自由ですが、以下に示すような取組みを推奨します。

1. ICT を活用した授業の設計・実施と評価
2. アクティブラーニング型授業の設計・実施と評価
3. データを活用した教授・学修活動の改善と評価
4. TA など、学生アシスタントを活用した授業の設計・実施と評価
5. 学部生や大学院生と共同した教授・学修活動の改善の取組みと評価
6. その他

### (3) 採択期間

採択期間は、原則として採択通知日から当該年度末 (2022年3月31日) までとします。

### (4) 研究倫理規定の遵守

取組みにあたっては、『帝京大学・帝京大学短期大学における研究者行動規範 (平成 27 年 4 月 1

日制定)』および『帝京大学・帝京大学短期大学における研究データ等の保存に関するガイドライン(2019年4月施行)』を必ず参照してください。

\*『帝京大学・帝京大学短期大学における研究者行動規範』は、本学ホームページの競争的資金等の不正防止に関する基本方針(<https://www.teikyo-u.ac.jp/teacher/prevention.html>)よりダウンロードできます。

\*『帝京大学・帝京大学短期大学における研究データ等の保存に関するガイドライン』は、2020年1月28日付けで経理グループよりポータルサイトのインフォメーションに配信された「件名：(医学系研究)旧倫理指針下での継続研究に関する変更申請のお願い」の添付資料(PDF)としてダウンロードできます。(※2020年度以降の新規着任教員については、高等教育開発センターのホームページにて確認ください。)

\*本学が進める研究倫理に関する研修プログラム(CITI-JAPANもしくはeAPRIN)を、代表者ならびに分担者全員が受講されていることが採択の必須要件です。

#### (5) SoTL フェロー制度について

SoTLの実践コミュニティをさらに発展させ、主体的・継続的な教学改善のサイクルを構築するため、2021年度より本プロジェクトにフェロー制度を導入いたします。

フェローは、その年のSoTLプロジェクト採択者(代表者および共同研究者)が自動的に登録されるもので、自身が辞退を申し出ない限りはフェローとしての立場が採択期間終了後も自動的に更新されます。フェローは毎年開催されるSoTL勉強会や成果報告会などへの参加と、自由研究発表(その年の採択者以外)も行うことが可能です。

フェロー制度に関する詳細は、採択者に後日お知らせいたします。

### 3. 採択の基準

申請課題は、少なくとも以下の基準(1)(2)を満たすものの中から、研究目的や研究手法の明確さ、成果検証のためのエビデンスの明確さ、成果の普遍性等を考慮して採択されます。物品の購入や旅費を主とする課題は、審査の対象となりません。また、代表者と分担者の両方を兼ねて応募することはできません。なお、幅広く多様な取組みのスタートアップを支援する趣旨より、同様の課題が複数ある場合は新規応募者を優先とします。

- (1) 本学の授業方法・運営、学生の学習活動などの改善に資すること
- (2) 改善効果を検証することができるものであること
- (3) 実践手法が同じ専門分野・領域のみならず、他分野での教育活動においても適用可能であること

### 4. 審査方法と採択の決定

提出された申請課題は高等教育開発センターにて審査を行い、採択決定者(個人とグループをあわせて10件程度を上限)にのみ通知します。また、採択決定者については連絡会議等にて周知するとともに、高等教育開発センターのホームページにて採択された取組みのみ、「代表者と分担者の氏名・所属・採択課題名」について公開します。採択・不採択の理由については公表しません。

なお、採択された取組みの代表者には、取組みの成果について『CTLフォーラム(高等教育開発セ

ンター紀要』に報告論文（授業実践研究）を投稿していただきます。また、八王子キャンパスにおいて開催する「SoTLプロジェクト 2021 成果報告会」（学内外に公開予定）において報告発表を行っていただきます。

## 5. 応募方法と期間

### (1) 応募方法

別途開催する「SoTLプロジェクト 2021」説明会にご参加いただき、申請書と電子データをお受け取りください。説明会に参加いただけない方は、4月22日（木）12:00以降に高等教育開発センターホームページ内 SoTL プロジェクトのウェブサイトに説明会動画を掲載しますので、必ず視聴してください。申請書は、所定の内容を記載の上、高等教育開発センターにご提出頂くか、以下のメールアドレスへ添付ファイルにてお送りください。応募に際し何かご不明な点がありましたら、高等教育開発センターへご連絡ください（開室時間 平日 9:00～17:00）。

\* SoTL プロジェクトウェブサイト：<https://ctl.teikyo.jp/fd/sotl/>

\* 申請書の送付先： 高等教育開発センター [ctl@main.teikyo-u.ac.jp](mailto:ctl@main.teikyo-u.ac.jp)

### (2) 申請書提出締切日

2021年5月17日（月）17:00 【厳守】

## 6. 今後の予定

2021年4月19日（月）12:20～12:50 第一回説明会

於 高等教育開発センター研修室（ソラティオスクエア 3階）

4月21日（水）12:20～12:50 第二回説明会

於 高等教育開発センター研修室（ソラティオスクエア 3階）

4月22日（木）12:00 高等教育開発センターホームページにて説明会動画公開

5月17日（月）17:00 申込み締切日

5月下旬 採択者に結果通知、採択期間の開始

6月・10月 内部勉強会の開催（研究のブラッシュアップを目的に、CTL より研究に有用な情報提供と参加者による意見交換を行います。）

10月～11月 中間報告会

2022年2月 SoTL プロジェクト 2021 成果報告会

3月31日（木）採択期間の終了

8月末 『CTL フォーラム』への寄稿（8,000字程度）

2023年 『CTL フォーラム』出版

\* 内部勉強会は任意参加、中間報告会および成果報告会は必須参加となります。

以上

<お問い合わせ先>

総務・企画グループ高等教育開発チーム [ctl@main.teikyo-u.ac.jp](mailto:ctl@main.teikyo-u.ac.jp)

外線：042-678-3977 内線：3976

## 「SoTLプロジェクト2021」申請書

年 月 日

高等教育開発センター長 殿

所属・職名 \_\_\_\_\_

申請代表者氏名： \_\_\_\_\_ (印)

申請分担者	所属・職名	氏名
	所属・職名	氏名
	所属・職名	氏名
	所属・職名	氏名
	所属・職名	氏名
	所属・職名	氏名
	所属・職名	氏名
研究課題名	【該当する研究課題】 ( 1・2・3・4・5・6 ) *応募要領2-(2)を参照 【課題名】	
概算予算金額		
備 考		

<確認項目>

以下をご確認のうえ、チェックをお入れください。

※チェックがない場合、申請書はお受けできませんのでご了承ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	応募にあたり、「SoTLプロジェクト2021」募集要領を読み、記載内容を了解しています。
<input checked="" type="checkbox"/>	応募にあたり、代表者ならびに分担者は研究倫理に関する研修プログラム(CITI-JAPANもしくはeAPRIN) の受講を終えています。

※枠は自由に広げて記入してください。

①研究目的と期待される成果（できるだけ具体的にお書きください）

\* 課題番号6「その他」を選択された場合は、「取組みの特長」についてもお書きください。

【目的】

【期待される成果】

②研究方法（できるだけ具体的にお書きください）

③成果検証のためのエビデンス（できるだけ具体的にお書きください）

\* 量的データ（テストの点数など）／質的データ（感想・コメントなど）

【エビデンスとなるデータの種類と収集・分析】

④実施スケジュール（②の研究方法との整合性に留意し、具体的にお書きください）

月	
---	--

⑤役割分担（※申請分担者がいる場合のみ。単独申請の方は記載不要です。）

【代表者】

【分担者】\*分担者が複数の場合は、各々についてお書きください。

⑥予算計画（概算予算金額の内訳を、②の研究方法との整合性に留意し、使途・目的と合わせてできるだけ具体的にお書きください。）

各事項/品名（仕様）の内訳と、その使途・目的	予定金額
1. 旅費	計
2. 備品・書籍	計
3. 人件費・謝金	計
4. 消耗品費	計
5. その他（会議費、通信費、複写費など）	計
総 計	

【注】

- ① コピーカードやノベルティなど換金性の高いものについては、適切な購入金額（数量）と使用に留意ください。
- ② 採択期間内に計画的に予算を使用ください。予算は原則として次年度へ持ち越せません。期間途中で予算事項・品名（仕様）等の変更、計画変更に伴う予算変更（事項や仕様の変更）が生じた場合は、できるだけ早めに「計画・予算変更届」をセンター事務局まで提出ください。これら2つの提出がない場合、予算の変更および執行が認められない場合があります。
- ③ 本申請書について、採択にあたって追加の情報や資料の提出等をお願いする場合があります。